

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●C. ルメール騎手がJRA通算2000勝を達成

4月26日(土)の2回東京1日・第11レースとして行われたテレビ東京杯青葉賞(GⅡ)ではエネルギーが1着となり、同馬に騎乗したC. ルメール騎手(栗東・フリー)は、史上10人目・現役5人目となるJRA通算2000勝を達成しました。9085戦目での2000勝達成で、これは武豊騎手の1万81戦を更新する史上最少騎乗回数での達成となります。

●戸崎圭太騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

4月27日(日)の2回東京2日・第11レースとして行われたサンケイスポーツ賞フローラS(GⅡ)でブラックルビーに騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、この騎乗で史上48人目・現役27人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●和田勇介調教師がJRA通算100勝を達成

4月27日(日)の2回東京2日・第7レースではロードブライトが1着となり、同馬を管理する和田勇介調教師(美浦)は、現役141人目となるJRA通算100勝(延べ1697頭目)を達成しました。

●丹内祐次騎手が春の福島リーディングに輝く

4月27日(日)をもって1回福島競馬が終了し、12勝をあげた丹内祐次騎手(美浦・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ナチュラルライズが単勝1.3倍の支持に応じて羽田盃(大井)圧勝

羽田盃(JpnⅠ、3歳、4月29日、大井、1800m)は、序盤折り合いを欠きながらも3番手に付けた圧倒的人気のナチュラルライズ(横山武史騎手、牡、父キズナ)が直線に入って間もなく抜け出し、内にもたれた状態でナイトオブファイア(大井)を5馬身も引き離して圧勝、通算成績を5戦4勝としました。2番人気のジャナドリアは更に6馬身遅れの3着、アメージングは5着、3番人気のグランジョルノは8着に敗れています。

●兵庫チャンピオンシップでマテンロウコマンドが4連勝を達成

兵庫チャンピオンシップ(JpnⅡ、3歳、5月1日、園田、1400m)は、3番手を追走した単勝1.9倍で断然人気のマテンロウコマンド(松山弘平騎手、牡、父ドレフォン)が、ハッピーマンを残り100mを切った辺りで捉えて2馬身突き放し、デビュー4戦目からの連勝を4に伸ばしました。逃げた3番人気のリリーフィールドが3着、2番人気のヤマニンチェルキは4着、ミストレスは7着でした。

●5月5日のかしわ記念(船橋)にコスタノヴァ、シャマルが登場

かしわ記念(JpnⅠ、5月5日、船橋、1600m)は、今年のフェブラリーSの覇者コスタノヴァが筆頭格、前走の黒船賞を圧勝した昨年のかしわ記念優勝馬シャマルが続き、ロードフォンス、タガノビューティー、ウィリアムパローズまでが争覇圏内と考えられ、芝のGⅠ馬ポタジェは引き続きダート適性が課題となります。

●連覇を狙うノットウルノらが参戦、5月6日の名古屋グランプリ

名古屋グランプリ(JpnⅡ、5月6日、名古屋、2100m)は、前年のこの競走をレコードタイムで圧勝したノットウルノが中心、以下サンライズジパング、セラフィックコール、メイショウフンジン順に有力視され、シンメダジー(高知)、昨年の東海地区三冠馬フックピグマリオン(愛知)の地方4歳勢にも一角崩しの可能性があり、重賞3勝のハギノアレグリアスは臨戦過程に問題がありそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港チャンピオンズデー〜タスティエーラがQEⅡ Cupを制す

現地4月27日に香港のシャティン競馬場で香港チャンピオンズデーが行われました。この日行われた3つのGⅠのうち、最初に施行されたGⅠチェアマンズスプリントプライズ(3歳上、芝1200m)を制したのは地元のカインライジング(騾4歳、父シャムエクспレス、D. ヘイズ厩舎)。Z. パートン騎手を背に中団追走から直線で突き抜けて、日本から参戦したサトノレーヴに2馬身1/4差をつけて優勝。昨年2月から続く連勝を12に伸ばすとともに、4つ目のGⅠ制覇を果たしました。この2レース後に行われたGⅠチャンピオンズマイル(3歳上、芝1600m)も地元のレッドライオン(騾6歳、父ベラード、J. サイズ厩舎)が優勝。H. ボウマン騎手の手綱で逃げると、最後はGⅠ香港マイルの勝ち馬ヴォイッジパブルとの競り合いを短アタマ差で制して、重賞初制覇をGⅠで飾りました。日本から出走のガイアフォースは9着。そしてこの日のメインレースであるGⅠクイーンエリザベスⅡ世C(3歳上、芝2000m)を制したのが日本のタスティエーラ(牡5歳、父サトノクラウン、美浦・堀宣行厩舎)。D. レーン騎手とのコンビで4番手追走から直線で抜け出すと、プログノーシスの追い上げを1馬身3/4差しりぞけて優勝。一昨年の日本ダービー(GⅠ)以来の勝利をGⅠで飾っています。